

77 番の歌 闇に差す光

闇を離れ、光の中にとどまる



「皆さんはかつて闇でしたが、今は.....光となっています」。エフェソス 5:8

ポイント：エフェソス 5 章に出てくる「闇」や「光」といった表現からどんなことを学べるかを考えます。

1-2. (ア) パウロはエフェソスのクリスチャンへの手紙を書いた時、どんな状況にありましたか。(イ) どんな点について考えますか。

パウロはローマで自宅に拘禁されていた時、仲間の兄弟姉妹を励ましたいと思いました。でも、直接会いに行くことができなかったため、手紙を書きました。そのうちの 1 つに、西暦 60 年から 61 年ごろにエフェソスのクリスチャンに宛てて書いた手紙があります。(エフェ 1:1 神の意志によってキリスト・イエスの使徒となったパウロから、エフェソスにいる、キリスト・イエスと結ばれた忠実な聖なる人たちへ; 4:1 主のゆえに捕らわれている私は皆さんに勧めます。招かれた人にふさわしい歩み方をし、)

2 パウロは手紙を書く 10 年ほど前、エフェソスでしばらくの間、良い知らせを伝えたり教えたりしていました。(使徒 19:1 さて、アポロがコリントにいた時、パウロは内陸部を通してエフェソスに行った。そこで何人かの弟子を見つけて、8-10 パウロは会堂に入って 3 カ月間大胆に語り、神の王国について話をし、人々を説得しようとした。9 しかし、ある人たちがあくまで信じようとせず、群衆の前でこの道について悪く言った時、パウロは離れて行って、弟子たちをその人たちと引き離し、ツラノの学校の講堂で毎日話をした。10 それは 2 年間続いたので、アジア州に住む人はユダヤ人もギリシャ人も皆、主の言葉を聞いた; 20:20, 21 ためらうことなく、有益な(*ために)なることを何でも皆さんに話し、人々の前で、また家から家へと、皆さんを教えました。21 神に対する悔い改めと私たちの主イエスへの信仰について、ユダヤ人にもギリシャ人にも徹底的に知らせました) パウロは兄弟姉妹のことを大切に思っていたので、エホバへの信仰を持ち続けられるように助けたいと思いました。でも、①天に行くよう選ばれたクリスチャンに宛てて、闇と光について書いたのはどうしてでしょうか。②私たちは皆、パウロのアドバイスから何を学べるのでしょうか。これらの点について考えてみましょう。

闇から光へ

3. パウロはエフェソスのクリスチャンに宛てた手紙の中で、どんな表現を使いましたか。

3 パウロは、エフェソスのクリスチャンに宛てた手紙の中でこう書きました。「皆さんはかつて闇でしたが、今は.....光となっています」。(エフェ 5:8 皆さんはかつて闇でしたが、今は主と結ばれて光となっています。光の子供として歩んでください) ここでパウロは、闇と光という言葉を使って、エフ

エフェソスのクリスチャンがどれほど大きな変化を遂げたかについて説明しています。では、「かつて闇」だったとはどういう意味かを考えてみましょう。

4. エフェソスの人たちは崇拝の面で闇の中にいました。そういえるのはどうしてですか。

4 **間違った崇拝**。エフェソスのクリスチャンは、**真理を学ぶ前**、**間違った宗教の教えや迷信にと**
らわれていました。エフェソスの町には**アルテミスの神殿**があり、**世界の七不思議の1つ**として
知られていました。そこでは、多くの人々が**熱心に偶像崇拝**を行っていました。**アルテミスの神**
殿の模型を作って売ることは、**もうかる仕事**と見なされていました。（**使徒 19:23-27** その時、この
道に関して大きな騒動が起きた。24 **アルテミス神殿の銀製の模型を作るデメテリオ**という**銀細工人の男性**が、職人
たちに**かなりの利益**をもたらしており、25 その職人や同じような仕事をする人たちを集めて、こう言った。「諸君
、ご存じの通り、われわれはこの商売のおかげで成功している。26 ところが、諸君が見聞きしているように、この
パウロという者は、**人が作った神は実際には神ではない**と言って、エフェソスだけでなくアジア州のほぼ全域で、か
なり多くの人を説き伏せて違った考えを抱かせている。27 このままでは、われわれのこの**商売の評判が落ちるだけ**
でなく、**偉大な女神アルテミスの神殿が無価値なもの**と見なされ、アジア州全体や世界中で崇拝されている**女神の莊**
厳さが失われることにもなりかねない」）また、エフェソスには**魔術もはびこって**いました。（**使徒**
19:19 実際、**魔術を行っていたかなり大勢の人が自分の書物を持ち寄って、皆の前で燃やした**。それらは計算してみ
ると、**銀5万枚の価値があった**）

5. エフェソスの人たちは道徳の面でも闇の中にいました。そういえるのはどうしてですか。

5 **道徳の乱れ**。エフェソスの町は、**ひどい不道徳や恥知らずな行い**であふれていることで有名で
した。**劇場や宗教行事**でも、**下品な会話が飛び交**っていました。（**エフェ 5:3** 性的不道徳(c*ギ語ポル
ネイア)や、あらゆる汚れや食欲については、皆さんの間で口に上ることさえあつてはなりません。聖なる人として
正しく振る舞うためです）パウロは、エフェソスの**人々の多くは「道徳感覚がまひしてい[る]」**と書
きました。これはつまり、**心に痛みを感じなくなった**ということです。（**エフェ 4:17-19** それで、
私は主によって語り、勧めます。もうクリスチャンではない人々のように、むなしい考えに従って歩んではなりませ
ん。18 彼らは**思考が闇に覆われていて、神による命から遠く離れています**。神について知ろうとせず、心が無感覚
だから(d*鈍くなっているから)です。19 道徳感覚がまひしていて、**恥知らずな行い(c*ギ語アセルゲイア)**にふけり、
あらゆる汚れた事柄を食欲なまに行います) **善悪に関するエホバの基準を知らない**エフェソスの人た
ちは**良心が痛むこともなく、自分たちの行いを見てエホバがどう感じているかも気にしていませ**
んでした。パウロはこうした人たちについて、「彼らは**思考が闇に覆われていて、神による命**
から遠く離れています」と書きました。

6. パウロがエフェソスのクリスチャンのことを「今は……光となっている」と言えたのはどうしてですか。

6 それでも、こうした**闇から離れる人たちも**いました。パウロはその人たちのことを、「**今は主**
と結ばれて光となっています」と書きました。（**エフェ 5:8** 皆さんはかつて闇でしたが、今は主と結ばれ
て光となっています。光の子供として歩んでください）その人たちは、聖書の真理という光の導きに従う
ようになりました。（**詩 119:105** あなたの言葉は私の足元を照らすランプ、私の進む道を照らす光）そして
、**間違った崇拝や道徳的に汚れた行いをやめ**ました。「**神に倣[う]**」者となり、**エホバを崇拝し**

、エホバに喜んでもらうためにベストを尽くすようになりました。（エフェ 5:1 皆さんは子供として神に愛されているのですから、神に倣ってください）

7. 私たちはエフェソスのクリスチャンとどんな点で似ていますか。

7 私たちも、真理を学ぶ前は崇拝の面でも道徳の面でも闇の中にいました。間違った宗教に関係した祝日を祝っていた人もいれば、道徳的に乱れた生活を送っていた人もいます。でも、エホバの基準について学び、自分を変化させてきました。エホバに喜ばれる生き方をするよう努力し、それが自分のためになることを実感しています。（イザ 48:17 あなたを救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる」）でも、気を緩めないようにしましょう。闇からしっかり離れていて、「光の子供として歩む」ためには、引き続き努力する必要があります。では、具体的にどんなことができるでしょうか。



Image digitally reproduced with the permission of the [Papyrology Collection](#), Graduate Library, University of Michigan, P.Mich.inv.

6238.Licensed under [CC by 3.0](#)

パウロがエフェソスの兄弟姉妹に書いた温かいアドバイスは私たちにも役立つ。（7節を参照。）

*写真や挿絵: エフェソスのクリスチャンに宛てて書かれた使徒パウロの手紙の初期の写本。

闇から離れる

8. パウロはエフェソス 5 章 3-5 節で何を避けるようにと言っていますか。

8 エフェソス 5:3-5 性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)や、あらゆる汚れや食欲については、皆さんの間で口に上ることさえあってはなりません。聖なる人として正しく振る舞うためです。4 恥ずべき行い、愚かな話、下品な(*みだらな)冗談なども、聖なる人にふさわしくありません。代わりに、感謝を表しましょう。5 皆さんは次のことを知っていて十分に理解しているはずです。性的に不道徳な人(*), 汚れた人, 食欲な人は、偶像崇拝者であり、キリストと神との王国に関連したどんな財産も受けることはありませんを読む。闇から離れて道徳的に清い状態を保つために、エフェソスのクリスチャンはエホバに喜ばれない行いを避ける必要がありました。その中には性的に不道徳な行いだけでなく、下品な会話も含まれていました。パウロはこうしたものから離れていないなら、「キリストと神との王国に関連したどんな財産も受けることはありません」と警告しました。

9. 不道德なものを一切避ける必要があるのはどうしてですか。

9 私たちも、「何も生み出さない闇の行い」に関わらないように闘い続ける必要があります。（エフエ 5:11 何も生み出さない闇の行いに関わるのをやめ、そうした行いを暴いてください）多くの事例から分かる通り、不道德なものを見たり聞いたり話題にしたりするなら、間違ったことを行ってしまう可能性が高くなります。（創 3:6 そこで女がその木を見ると、おいしそうな実が付いていて、魅力的な美しい木に見えた。それで女はその木の実を取って食べ始めた。その後、一緒にいた時に夫にも渡した。夫もそれを食べ始めた。ヤコ 1:14, 15 人はそれぞれ、自分の欲望に引かれて惑わされる(*餌によるかのように捕らわれる)ことにより、試されるのです。15 欲望は膨れ上がった(d*身ごもった)時に罪を生みます。そして、罪は犯された時に死をもたらします) ある国では、何十人ものエホバの証人がオンライン上で友達になり、チャットグループを作って会話を楽しんでいました。初めは、エホバや聖書のことについて話していました。でもやがて、会話の内容は良くないものになっていき、セックスの話題で盛り上がるようになりました。この良くない会話がきっかけで、多くの人が性的に不道德なことをしてしまいました。

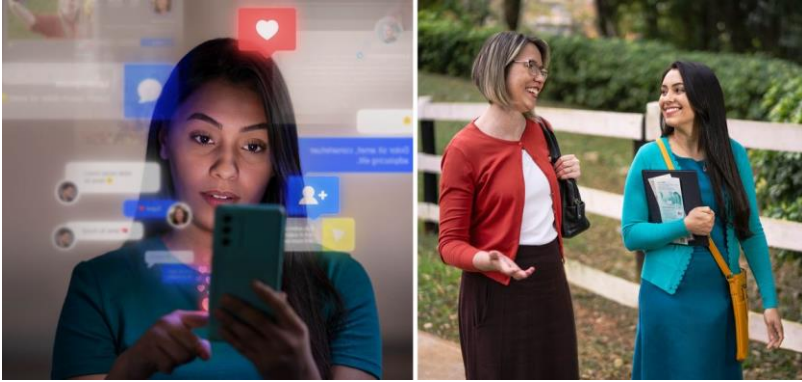
10. サタンはどのように私たちをだまそうとしていますか。（エフェソス 5:6）

10 サタンが支配する世界は私たちに、エホバが不道德で汚れていると言っているものを全く問題がないと思わせようとしています。（ペテ二 2:19 自由になれると約束しながら、自分自身が腐敗の奴隷になっています。誰かに打ち負かされる人は、その人の奴隷になる(*何かに打ち負かされる人は、その奴隷になる)からです) それも驚くことではありません。サタンはこれまでずっと、正しいことと間違っていることを見分けられないように人々を惑わしてきたからです。（イザ 5:20 善を悪と言い、悪を善と言う人たちが、闇を光とし、光を闇とする人たちが、苦いものを甘いとし、甘いものを苦いとする人たちには災いがある!。コリ二 4:4 今の体制(*時代)の神が、信仰のない人たちの思考を遮り(*心の目をくらまし)、神に似た者であるキリストについての素晴らしい良い知らせの光が輝き渡らないようにしているのです) 実際、多くの映画やテレビ番組、ウェブサイトによって、エホバの基準に全く反する考えが広まっています。サタンは、汚れた行動やライフスタイルは問題がないだけでなく、楽しいものだと思わせようとしています。（エフェソス 5:6 口先だけの言葉にだまされないでください。こうした事柄のために、神は不従順な人たちに憤りを表そうとしていますを読む。）

11. アンジェラ姉妹の経験から、エフェソス 5 章 7 節の言葉を自分に当てはめることの大切さがどのように分かりますか。（写真も参照。）

11 サタンは、私たちがエホバの基準を大切にしない人たちとの交友から悪い影響を受けることを願っています。それでパウロはエフェソスの兄弟姉妹に、エホバの目に悪いことを行う人たちと「関わりを持つてはなりません」と言いました。（エフエ 5:7 ですから、そういう人たちと関わりを持つてはなりません）私たちはエフェソスのクリスチャンよりもさらに注意する必要があります。直接会って時間を過ごす人だけではなく、ソーシャルメディアでやり取りをする人たちからも影響を受けるからです。アジアに住むアンジェラ姉妹はそのことを認めています。*一部の名前は変えてあります。こう言います。「ソーシャルメディアを使っていると、だんだん感覚が鈍くなってきました。私は、聖書の原則を大切にしない人たちを友達にすることを何とも思わなくなっていました。そして、エホバが喜ばないライフスタイルをしても構わないんじゃないかと思うまでになりました。

ました」。でも、姉妹は長老たちの優しい助けによって考え方や行動を変えることができました。こう言っています。「今では、ソーシャルメディアよりもエホバについて考える時間をもっと大切にするようにしています」。



エホバの基準を守るためには、友達をよく選ぶ必要がある。（11 節を参照。）

12. エホバの基準にしっかり従う上で、どんなことが助けになりますか。

12 今の世の中では、不道徳な行いは特に悪いことではないという考え方が広まっています。私たちはそうした考え方が間違っていることをよく知っています。（エフェ 4:19, 20 道徳感覚がまひして、恥知らずな行い(c*ギ語アセルゲイア)にふけり、あらゆる汚れた事柄を食欲なまでに行います。20 しかし皆さんは、キリストはそのような方ではないと学びました）でも、次のように考えてみるのは良いことです。「①職場や学校などで会う、エホバの基準を大切にしていない人たちと必要以上に仲良くなならないように注意しているだろうか。②考え方が古いと言われるとしても、エホバの基準にしっかり従うだろうか」。テモテ第二 2 章 20-22 節さて、大きな家には、金や銀の器具だけでなく、木や土の器具もあります。立派な用途のための器具もあれば、つまらない(*卑しい)用途のための器具もあります。21 それで、後者のような人たちから離れている人は、立派な用途のための器具となります。神聖にされたもの、持ち主の役に立つもの、あらゆる良い活動のために用意ができたものとなるのです。22 ですから、若い時に抱きがちな欲望から逃れ、清い心で主に頼る人たちと共に、正しさと信仰と愛と平和を追い求めなさいから分かる通り、私たちは会衆の中でどんな人と親しくなるかにも注意深くある必要があります。エホバに心を込めて仕えようとしていない人もいますからです。

「光の子供として」歩む

13. 「光の子供として歩む」とはどういうことですか。（エフェソス 5:7-9）

13 パウロはエフェソスの兄弟姉妹に、闇から離れるだけでなく、「光の子供として歩む」よう勧めました。（エフェソス 5:7-9 ですから、そういう人たちと関わりを持つてはなりません。8 皆さんはかつて闇でしたが、今は主と結ばれて光となっています。光の子供として歩んでください。9 光はあらゆる善いことと正しいことと真実なことを生み出しますを読む。）これはつまり、どんな時も本物のクリスチャンにふさわしい行動をするということです。そうするための 1 つの方法は、聖書と出版物をよく読み、深く学ぶことです。「世の光」であるイエス・キリストの手本と教えをじっくり考えることはとても大切です。（ヨハ 8:12 イエスは再び語った。「私は世の光です。私の後に従う人は決して闇の中を歩むことが

なく、命を与える光を持つようになります」。[格 6:23](#) おきてはランプ、律法は光、指導のための戒めは命への道だからである)

14. 聖なる力はどのように助けになりますか。

14 「光の子供として」歩み続けるためには、聖なる力による助けも必要です。なぜなら、①この不道德な世の中で清い状態を保つのは簡単なことではないからです。（[テサー 4:3-5](#) 神は、皆さんが聖なる者となり、性的不道德(c*ギ語ポルネイア)を避けることを望んでいます。4 皆さん一人一人は、聖なる者として品位を保てるよう、自分の体(d*器)をどのように制するかを知っているべきです。5 神を知らない人々のように、食欲で奔放な性欲を抱いてはなりません、7, 8 神が私たちが招いたのは、私たちが汚れた者ではなく聖なる者となるためです。8 ですから、こうしたことを軽視する人は、人を軽視しているのではなく、聖なる力を与えてくださる神を軽視していることになります) ②聖なる力は、世間一般に見られる哲学や神の教えと合わない考え方を退ける助けになります。また、「あらゆる善いことと正しいこと」を行えるようにも助けてくれます。（[エフエ 5:9](#) 光はあらゆる善いことと正しいことと真実なことを生み出します）

15. どうすれば聖なる力を与えてもらうことができますか。（[エフェソス 5:19, 20](#)）

15 聖なる力を与えてもらうためには、祈ることが大切です。イエスは、エホバが「ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださる」と言いました。（[ルカ 11:13](#) それで、あなたたちが罪深い人間でありながら、子供に良い贈り物を与えることを心得ているのであれば、まして天の父は、ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださるのです）集会でエホバを賛美する時にも、聖なる力をもらうことができます。（[エフェソス 5:19, 20](#) 詩や神への賛美の歌や崇拜の歌によって励まし合い(if*自分を励まし)、心から(*心の中で)音楽に合わせてエホバ(*)に向かって歌いましょう。20 私たちの主イエス・キリストの名によって、常にどんなことについても、私たちの父である神に感謝しましょうを読む。) 聖なる力の感化を受けるなら、エホバに喜ばれる生き方ができます。

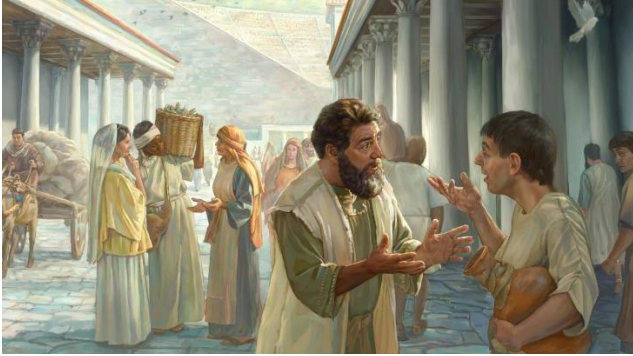
16. 良い決定をするために、どんなことが助けになりますか。（[エフェソス 5:10, 17](#)）

16 重要な決定をする時には、「エホバが何を望んでいるか」を見極め、その通りに行動することが大切です。（[エフェソス 5:10](#) 何をするにしても、主に受け入れられることかどうかを確かめましょう、17 もう無分別なことをしてはなりません。いつでも、エホバ(*)が何を望んでいるかを見極めましょうを読む。) 自分の状況に当てはまる聖書の原則を探することによって、エホバの考えを知ることができます。その原則に合わせて決定するなら、良い結果になるでしょう。

17. 時間を有効に使うために、どんなことに注意できますか。（[エフェソス 5:15, 16](#)）（挿絵も参照。）

17 パウロはエフェソスのクリスチャンに、時間を賢く使うように勧めました。（[エフェソス 5:15, 16](#) それで、自分の歩み方をしっかり見守りましょう。賢くない人ではなく賢い人のように歩み、16 時間を有効に使って(*良い時を買い取って)ください。今は悪い時代だからですを読む。) 「邪悪な者」であるサタンは、エホバに仕える時間が残らないほど、毎日の生活のことで忙しくさせようとしています。（[ヨハ 5:19](#) 私たちが知っている通り、私たちは神から出ていますが、全世界は邪悪な者(c*サタンのこと)の支配下にありま

させるようになってしまうかもしれません。もしそうだとしたら、それは私たちがエホバに仕えていない人たちの影響を受けていることのサインです。もちろん、お金を稼ぐことや教育を受けること自体が間違っているわけではありませんが、それを生活の中心にするべきではありません。「光の子供として」歩むためには、本当に大切なことのために「時間を有効に使」うことが必要です。



パウロはエフェソスのクリスチャンに、時間を有効に使うようにとアドバイスした。（17節を参照。）

18. ドナルド兄弟は、時間を有効に使うためにどんなことをしましたか。

18 エホバのためにもっとできることがないか、いつも考えるようにしましょう。南アフリカに住むドナルド兄弟はそうしました。こう言っています。「自分の生活を見直しました。そして、『エホバのためにもっと多くのことができるように助けてください。伝道の時間をもっと増やせるような仕事を与えてください』と祈りました。エホバの助けでぴったりの仕事を見つけることができました。夫婦で全時間奉仕をするという人生の新たな一歩を踏み出すこともできました」。

19. どうすれば「光の子供として」歩み続けることができますか。

19 エフェソスの兄弟姉妹にとって、パウロが書いた手紙はエホバに仕え続ける上で助けとなったことでしょう。それは私たちにとっても助けになります。この記事で考えたように、パウロの言葉は、①気晴らしにどんなことをするか、またどんな人と友達になるかを決める時に役立ちます。さらに、②真理の光の中にいたいという気持ちを強めてくれます。そのためには、聖書を定期的に学び続ける必要があります。パウロの手紙は、③善いことをするためには聖なる力の助けが必要であることを強調しています。④パウロの言葉を当てはめるなら、エホバの考えに合わせた良い決定ができるでしょう。⑤こうしたことを行うなら、闇を離れ、光の中を歩み続けることができます。

どのように答えますか

1. エフェソス5章8節に出てくる、「闇」と「光」はどんなことを表していますか。

・S03 ここでパウロは、闇と光という言葉を使って、エフェソスのクリスチャンがどれほど大きな変化を遂げたかについて説明

・S04 崇拝の面での闇とは、エフェソスの人たちが真理を学ぶ前にとらわれていた間違った宗教の教えや迷信、魔術（またその状態）のこと

・S05 善悪に関するエホバの基準を知らないエフェソスの人たちが良心が痛むこともなく行っていた不道徳や下品な会話などの影響も闇の中に居たこと示した。

・S06 エフェソスのクリスチャンは、間違った崇拜や道徳的に汚れた行いをやめ、「神に倣[う]」者となり、エホバを崇拜し、エホバに喜んでもらうためにベストを尽くすようになり、闇から光に移ることができた。

・S07 私たちも、真理を学ぶ前は崇拜の面でも道徳の面でも闇の中にいたが、エホバの基準について学び、自分を変化させてきた。光の子供として歩[む]ためには、気を緩めず、引き続き努力する必要がある

2. どうすれば「闇」から離れていることができますか。

・S08 エフェソスのクリスチャンはエホバに喜ばれない行いを避ける必要があり、その中には性的に不道徳な行いだけでなく、下品な会話も含まれていた

・S09 私たちも、「何も生み出さない闇の行い」に関わらないように闘い続ける必要がある。不道徳なものを見たり聞いたり話題にしたりするなら、間違ったことを行ってしまう可能性が高くなる

・S10 サタンが支配する世界は私たちに、エホバが不道徳で汚れていると言っているものを全く問題がないもの、楽しいものだと思わせようとして、映画やテレビ番組、ウェブサイトによって、エホバの基準に全く反する考えを広めている

・S11 サタンは、私たちがエホバの基準を大切にしない人たちとの交友から悪い影響を受けることを願い、直接会って時間を過ごす人だけではなく、ソーシャルメディアでやり取りをする人たちからも影響を受けるようにさせてきた

・S12 「①職場や学校などで会う、エホバの基準を大切にしていない人たちと必要以上に仲良くならないように注意しているだろうか。②考え方が古いと言われるとしても、エホバの基準にしっかり従うだろうか」と自問する。会衆の中でどんな人と親しくなるかにも注意深くあるべき

3. どうすれば「光の子供として歩[む]」ことができますか。

・S13 どんな時も本物のクリスチャンにふさわしい行動をすること。そのために、①聖書と出版物をよく読み、深く学ぶことや、②「世の光」であるイエス・キリストの手本と教えをじっくり考えることは、とても大切

・S14 聖なる力による助けも必要。なぜなら、①この不道徳な世の中で清い状態を保つのは簡単なことではなく、聖なる力は、②世間一般に見られる哲学や神の教えと合わない考え方を退ける助けになり、③「あらゆる善いことと正しいこと」を行えるようにも助けてくれるから

・S15 聖なる力は、祈ることによって、また集会でエホバを賛美する時に与えてもらえる。聖なる力の感化を受けるなら、エホバに喜ばれる生き方ができる。

・S16 重要な決定をする時には、自分の状況に当てはまる聖書の原則を探すことによって、エホバの考えを知り、その原則に合わせて決定し行動するなら、良い結果になる

・S17 「邪悪な者」であるサタンは、エホバに仕える時間が残らないほど、毎日の生活のことで忙しくさせようとしているが、お金や教育や仕事を優先させるのではなく、本当に大切なことのために「時間を有効に使」うことが必要